

■履修モデル 中学社会・高校公民・高校地理歴史

区分	必要 単位数	種別	1年次		2年次		3年次		4年次			
			春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
教育の基礎的理解に関する科目	10	必修	特別支援教育	* 教職入門	* 教育原理							
		選択		* 教育心理学	* 教育行政							
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	中学:10 高校:8	必修				総合的な探求の時間の指導法						
						特別活動指導法						
		中学:必修			* 生徒指導論 * 進路指導論	教育課程の編成とICT活用を含む教育の方法	教育相談の理論と方法					
教育実践に関する科目	中学:7 高校:5	必修					道徳教育指導論		教育実習Ⅰ・Ⅱ 実習指導 教職実践演習			
教科及び教科の指導法に関する科目	中学:28 高校:24+24	必修			* 社会科・地歴科指導法Ⅰ	* 社会科・地歴科指導法Ⅱ						
					* 社会科・公民科指導法Ⅰ	* 社会科・公民科指導法Ⅱ						
		必修		地理学	地理学フィールドワーク							
			民法Ⅰ 国際法 日本地誌 世界地誌									
			経済学 政治学 社会学 心理学【哲学 倫理学(いずれか1科目選択)】 人文地理学a 人文地理学b									
		選択	日本史a 日本史b 西洋史a 西洋史b 自然地理学a 自然地理学b									
			山形地域論a 山形地域論b 文化人類学 英国庭園文化論 法学 ジェンダー論 環境社会学									
			ミクロ経済学 マクロ経済学									
			経済史 会計学 金融論 産業組織論 企業法務 企業組織の心理学									
			行政学 地方自治論 行政法 統治機構論 政策入門 社会政策a 社会政策b 国際海洋法 公共経営論 社会保障論a 社会保障論b 公的年金論 民法Ⅱ 地方財政論 国際関係の法と経済 日本政治論Ⅰ 日本政治論Ⅱ									
公的扶助論												
大学が独自に設定する科目	中学:4 高校:12	選択	生涯学習論		障害者福祉論 児童・家庭福祉論 介護等体験(※中学社会免許必修)		職場のメンタルヘルス					
				教育学	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		マルチメディア論					
					憲法a・b							
教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目(基礎的な科目)	8	必修	外国語(別掲1)情報リテラシー		体育と健康a	体育と健康b						
		選択	AⅠと社会 データサイエンス入門a	データサイエンス入門b								

注) 1. 中学免許を取得する場合は、「介護等体験」が必修となっている。体験を実施する前年度までに「特別支援教育」を受講しておくこと。

- ・特別支援学校 2日間(連続して) ・社会福祉施設等 5日間(連続して) 外国語(別掲1)
- 2. 表中に網掛けしている科目は、卒業単位に含まれる。
- 3. 1年秋学期に『教育学』と『心理学』を受講しておくことが望ましい。
- 4. 1年春学期から教科に関する科目をなるべく積極的に受講しておくことが望ましい。
- 5. \*印は、教育実習を行う前に履修しなければならない科目。
- 6. 語学・情報科目と教職必修科目が重なった場合、クラス変更が可能な場合があるので、教職担当教員に相談すること。

科目名	
英語Ⅰ(基礎英語)・EAPⅠ(Basic English)	英語Ⅱ(リスニング)・EAPⅡ(Listening/Speaking)
中国語Ⅰ	中国語Ⅱ

※ 2言語から1言語選択必修